



大洗高校「ブルーホークス」でスネアードラムを担当する川那子さん（写真左）とユーフォニウムを担当する仁平さん（同右）

全国大会最優秀賞の大洗高校マーチングで市内の学生が活躍

大洗高校音楽科に通う、川那子さん（鎌田地区）、仁平真由さん（青柳地区）の2人は、共に大洗高校のマーチングバンド「ブルーホークス」に在籍する1年生です。同校のマーチングバンドは、全国大会で毎年優秀な成績を上げており、昨年12月に開催された「マーチング・バントワーリング全国大会」でも最優秀賞を受賞。両名は、勉強や厳しいマーチングバンドの練習とで毎日忙しい日々を送っています。今回、最優秀賞を受賞できたことに、「日頃の練習の成果が実を結んで、満足いく演奏が出来ました。」と話していました。

箱根駅伝で本郷地区の海老原さんが力走

今年行われた第88回東京箱根間往復大学駅伝競走に、東海大学のアンカー（第10区）として、本郷地区出身の海老原匠さん（4年生）が出場し、力走を見せました。東海大学の総合順位は12位。海老原さんは、第10区23.1kmを1時間13分42秒で走り抜きました。中学時代に駅伝選手として選出され、高校・大学では陸上部の長距離選手として駅伝に出場してきた海老原さん、「第10区は、街中を走るので、観客や応援者の多さにとっても緊張して、夢中で走りました。」と話していました。



今年の「箱根駅伝」の東海大学アンカーとしてゴールに駆け込む海老原さん

空手道選手権 関東大会で市内の小・中学生が好成績

千葉県船橋市総合体育館で開催された「第36回関東地区空手道選手権大会」に、茨城県代表として出場した大和道場（高久地区）の3人の選手が好成績を収めました。中学3年女子形の部では小林里菜さん（大和中）が優勝、また、小学6年男子形の部でも岩瀬拓未さん（雨引小）が優勝、柏湧斗さん（羽黒小）が第3位となるなど市内の小・中学生が見事な成績を収めました。3人は「日頃の練習の成果と指導してくれた先生や支援してくれた皆さんのおかげです」「進学してからも空手は続けます」と話していました。



関東地区空手道選手権大会で優秀な成績を収めた小林さん（写真左）、岩瀬さん（同右）、柏さん（同中央）

岩瀬小学校6年生が幼児たちに「読み聞かせ」

昨年12月、岩瀬中央公民館で「朗読の会：虹」が毎月開催している読み聞かせ「おはなしの小箱」で、岩瀬小学校6年生の読み聞かせグループの児童たちが、幼児たちに紙芝居や絵本の読み聞かせを行いました。岩瀬小学校では、昨年6月から生涯学習の一環として、「朗読の会：虹」の会員を講師に迎え、「読み聞かせ」の学習を行っており今回、同会と一緒に読み聞かせを幼児たちの前で披露しました。読み聞かせを披露した児童たちは、「小さい子が喜んでくれたことが、嬉しかったです。」と話していました。



幼児たちを前に絵本「ハモのクリスマス」の読み聞かせを行った岩瀬小学校6年の児童たち

「手打ちそば大好き会」が福祉施設で年越しそばをプレゼント

大和地区の手打ちそば大好き会（広沢洋一会長／会員30人）の皆さんが昨年末、市内の福祉施設などを訪れボランティアによる手打ちそばの無料提供を行いました。同会が訪問したのは「ひだまりの家」、「さくらがわ」、「桃香園」、「サンホーム真壁」の4か所の老人・身体障害者の福祉施設。そば打ち道具や原材料など一式を持ち込み施設利用者などに、打ちたて、ゆでたてのおいしいそばをプレゼントしました。広沢会長は「おいしそうに食べてくれる皆さんの顔を見ると、そばを打つ手にも力が入ります。」と話していました。



「サンホーム真壁」で、そば打ちの準備を行う手打ちそば大好き会の皆さん

「もっと食べる！」下泉地区の「大飯祭り」

昨年12月、下泉集会所（下泉地区）で、その年の作物の実りを神に感謝するとともに、地区の人たちの健康を願う「大飯祭り」が開催されました。当日は、地元鹿島神社の氏子たちが集まり、神主による神事の後に「物相」と呼ばれる7合のご飯を、サンマやけんちん汁などをおかずにご飯をいただきました。氏子が物相を食べていると、当家が神様に扮して現れ、大きなしゃもじにご飯を載せて、「もっと食べる！」とご飯を勧めて回ります。代表者の挨拶では、「震災でも、今年も豊作でした。」と話していました。



当家が扮する神様が山盛りのご飯の上に、更にご飯を勧めて回ります。

クリスマスの慰問に 老年寄りたちも笑顔

昨年12月、特別養護老人ホームさつき荘（富岡地区）で、クリスマス会が開催され、施設利用者の皆さんへ「桜子合唱団」「桜川磯部観世会」「フラ・ポピー」の3団体の皆さんから、歌や仕舞・フラダンス披露のプレゼントがありました。このイベントは、今年で2回目。当日は、施設利用者など約80人が参加し、出演者たちと演目に合わせて一緒に歌ったり、踊ったり楽しく過ごしました。さつき荘の友常千恵子施設長は、「うれしいクリスマスプレゼントをいただき、幸せな時間でした。」と話していました。



「マル・マル・モリ・モリ」を披露する「桜子合唱団」の子どもたち

小正月の伝統行事「どんど焼き」

小正月の伝統行事「どんど焼き」が、1月14日（土）の夕方、市内各所で行われました。真壁町羽鳥地区で行われた「どんど焼き」では、地域の約100人が、青竹や藁、各家から持ち寄った正月の松飾り・ダルマなどで組まれた、高さ約12メートルの櫓の下に参集。その後、消防団が見守る中、櫓に点火され、集まった皆さんは、燃え盛る火に餅やスルメなどを火にかざして食べ、一年間の地域の無病息災を祈願しました。



真壁町羽鳥地区の「どんど焼き」では、子どもたちも多く参加し餅などを焼いて食べ、一年間の地域の無病息災を祈願しました。